

 開校明治七年 開校149年目	大和田小だより 学校教育目標 かしこく やさしく がんばる子 大和田小は新座の始めの学校。来年度開校150周年です。	めざす学校像 子供の自己有用感を向上させ、主体的・協働的な学びを大切にする学校 ～すべての子を大和田小の光に～ 10月号 令和5年9月29日 新座市立大和田小学校 児童数 775名・学級数 27学級	10月の生活目標 身の回りの整理 ・整とんをしよう ・身につけるものを清潔にします ・自分のものは自分で管理します
---	--	--	--

神無月 大和田の地で共に育つ子供たち

校長 近藤章宏

校舎裏の植え込みでヒガンバナが咲いています。1年生の廊下からよく見えるところです。ヒガンバナはその名前のとおり秋の彼岸(秋分の日)の頃に花が咲くことが多いのですが、今年は8月の猛暑、9月の残暑の影響からなのでしょうか、花が遅れています。それでも日に日に秋の空気になりつつあり、学習や運動するのに適した季節へと変わりつつあることを感じます。



学習環境を共にづくりあげる

9月の全校集会で以下の講話をしました。

これから少しずつ涼しくなり、学習がしやすい環境になってきます。「環境」とは何かをするときの皆さんの周りの様子のことです。暑い涼しいということもそうです。また授業では気温だけでなく、教室での先生の話し方や、クラスのお友達との関わり方も環境です。授業はみんなで作るものです。

友達の考えをよく聞く、それが友達を大切にすることです。自分の考えをよく話す、それが自分を大切にすることです。

友達も自分も大切にすると、考えが浮かび、考えが広まり、考えが深まります。そのためには、まずは、学級みんなに聞こえる大きな声で堂々と自分の考えや思いを発言してください。ときにはまちがってもかまいません。毎日どの時間にもたくさん発言する機会がありますから。大切なのはそうやってクラスの友達同士で互いに認め合い互いを大切にしてみんなで学び合っていくことです。

落ち着いた学習ができる環境をつくるのは皆さん自身なのです。

学習集団、生活集団である学級を自分事として共に作りあげることができる子供たちになってほしいと願っています。またそのような取り組みができるよう指導してまいります。



運動会を共にづくりあげる

先日、本年度の運動会開催にかかる文書を配付いたしましたのでご覧になられたと思いますが、本年度の運動会は基本的にコロナ禍前の実施方法に戻って実施します。学年全体の表現、団体競技そして徒競走です。更に中学年・高学年は代表選手によるリレーも行います。学年同士で互に見合うことで各学年の特色や良さを感じる場を作ってまいります。その際に、下級生の取り組みに対して慈しみの思いをもったり、上級生の力強くなやかな表現や運動に憧れの念を抱いたりして欲しいと思っています。

そのために昨年度まで実施していたように学年を分散しての運動会ではなく、全学年の児童が校庭に集い互いに見合うことができるようにいたしました。

保護者の皆様の参観に際してはご不便をおかけいたしますが、子供たちが同じ空間で共に過ごすことの良さを期待してのこととご理解ください。

また1月には本年度も音楽発表会を予定しています。音楽会についても保護者に公開する会とは別に体育館に全児童が集い、互いの学年の発表を見る機会を計画しています。そこで体形の確認を兼ねて10月の全校集会は3年ぶりに全児童が体育館に集合しての集会を実施していきます。

子供たちが互いに良さを見合い、共に育つことのできる場を多く作ってまいります。

ヒガンバナは基本的には種子ができない植物で、株分けで増えていくそうです。ですから密集して咲いている花は、元々は全て同じ株ということになり、全く同じ時期に一齐に茎が伸び、花が咲くのはそのためなのです。



本校の子供たちが大和田の地で、同じ場所に集い、学級や学年の同学年の集団や、通学班や縦割りグループなどの異年齢の集団の中の生活や学習活動を通して影響し合いながら、共に学習し、よりよい規範意識やマナーなどを共有して身に付け、一齐に伸びていってほしいと願っています。